

第1回 あかいわ☆しらせ隊 中央図書館 H29.7.2

●ワークショップ 各テーマの現在（いま）と未来について

グループ①

- 赤磐市で英国庭園の婚活パーティはみたことがあるが他はみたことがない。婚活がメインではなく、参加して楽しんで友達や知り合いを増やせるような目的としてもいいのでは。
- 桜が丘団地は、働いている人が多いので、近隣住民との交流が少ない。もっと親しくなると楽しいかなと思う。
- 鉄道が通っていない。宇野バス最終時刻が 23:30 岡山発、岡山市で働いている人が多く 2次会や3次会に行けない。参加すると岡山市に泊まるようになる。もう少し遅い時刻のバスがあるといい。
- 小さい子連れでいけるお店は充実しているが、もう少しいっぱいあると楽しいかな。
- 坂道が多いので自転車での通学が大変。高校建設は難しいだろうが、近くにあると便利だと思う。
- 教育について、充実はしていると思うが他市が行っている無料での塾があるといい。

グループ②

- 赤磐市は、まちのにぎわいや活性化はしていない。少子高齢化の問題があり、赤磐市には若者向けの店がない、スタバとか。大学は県立農業大学校のみ。若者をターゲットにしてもヒットしていないものばかり。
- 高齢者が多いが交通難民の問題、住みにくいのでは。赤磐市は車社会、これを歩いて生活できるような地域にしていけば。マンションや病院を造る。子どもの遊び場所を造っていかないと…。発展していくことでまちがにぎわうのでは。
- 移住者で農業希望者がいても、うまくいっていない。農業の法人化が必要では…。収益が上がる、農業が発展する。生産物を作りやすい環境になる。かたや、農業のせいでまちが汚くなっている、農薬が川に流れこんでいないか、という人もいる。

グループ③

- 空き家のことを気にしていない。どれが空き家か、まだ人が住んでいるのかわからない。さびれたところは雰囲気暗い。そこをうまく人が集まるように変えていきたい。
- 活用方法として、民泊できるように空き家を改造し観光に来てもらう。おしゃれなカフェにする。ウォールアート、アートスペースにする。DIYで空き家改装教室をする。
- 桜が丘、山陽両団地は坂が多いので、徒歩や自転車は大変、途中で座れる場所、休憩ができる場所があれば人が集まるのでは。
- 赤磐市の魅力を見てもらうために空き家をうまく活用し、若者が来てくれるような場所を作り、若者同士が協力して人の流出を防ぐことができればいい。

グループ④

- 赤磐市の観光地、事業を含めてどんなことをやっているかわからない、知らない。
- いろんな人に情報を知ってもらいたい。特産品、住みやすさ中四国でNo.1を知ってもらう方法をやっていきたい。